

新たな時代のスタートである今年度、「とうほく」は2年度目を迎える「とうほく自動車関連産業振興ビジョン～とうほく自動車関連産業のさらなる高みへ～」に基づき、7県の産学官が一層連携し、以下の事業について重点的に取り組む。

戦略Ⅰ 幅広い分野の企業集積

自動車関連企業の進出・地域定着と地場企業の参入を進め、幅広い分野の関連企業の集積を促進。

1 関連企業の進出促進

- (1) 東北へのさらなる自動車産業集積、拠点機能の強化に向け、自動車メーカー等へ各県知事等によるトップセールスを実施
- (2) 東北企業マップ等を活用し、商談会等の場において、企業集積の状況についてPRを強化

2 地場企業の参入促進

- (1) 東北の地場企業の技術力を自動車メーカー・グループ等に対してアピールする商談機会等の提供
 - ① トヨタグループ向け展示商談会の開催
 - ◇期 日：令和2年1月30日（木）、31日（金）
 - ◇場 所：トヨタ自動車株式会社本社本館ホール（愛知県豊田市）
 - ◇参加企業数：100社程度
 - ② SUBARU向け展示商談会の開催
 - ◇期 日：令和元年10月24日（木）
 - ◇場 所：㈱SUBARU 群馬製作所 本工場（群馬県太田市）
 - ◇参加企業数：27社（予定）
- (2) 当連携会議及び各県協議会のホームページ等を通じた、生産工程改善指導や各種支援施策に関する情報の発信
- (3) 各県アドバイザー等による、域内の企業等を対象とした個別技術指導の実施

3 企業間交流・連携の促進

- (1) 総会・講演会等の開催
 - ◇期 日：令和元年7月16日（火）
 - ◇場 所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (2) 北海道自動車産業集積促進協議会との相互交流、事業等を促進
- (3) 企業見学・企業の情報交換など企業間連携を図る機会の創出
- (4) 商談会・交流会等を通じ、地域内企業同士の交流・連携の促進
- (5) 域外の機関が主催するイベント等への協力及び情報提供

戦略Ⅱ 競争力のある生産拠点

設計開発機能の強化や生産技術力高度化・生産準備力強化などを推進し、競争力のある車両・部品の生産を促進。

1 設計開発機能の強化

自動車部品等への理解促進を目的としたセミナー・勉強会等の開催及び各県協議会等が開催する各種セミナー等への相互参加

2 生産技術力・準備力の強化

各県の自動車関連アドバイザーや産業支援機関等による企業の掘り起し、商談会後の取引に向けたフォローアップ等の実施

3 生産体制の強化

IoTやAIをテーマとするセミナー等の開催及び相互参加

4 提案力の強化

各県アドバイザー等による助言及び商談会へ向けた研修の実施等

戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点

広域的に産学官連携し、EVやFCVなどの環境対応車や自動運転車といった次世代を担う自動車に求められる技術の研究開発を促進するとともに、製品化・実用化を意識した取組を推進。

1 次世代自動車の生産を支える技術の開発

広域的な産学官連携による、EVやFCVなどの環境対応車や自動運転車といった次世代を担う自動車に求められる技術に関する研究開発の促進

2 研究開発の実用化

とうほく・北海道ショーケースカープロジェクトの参画企業数及び部品数の増加による、地域企業が持つ新規技術の情報発信

3 県境を越えた公設試による連携の強化

加工技術高度化等を目的とする、各県公設試による広域連携での研究開発の推進

戦略Ⅳ 人材の育成・定着・確保

産学官が連携し、高度化・多様化する自動車産業において求められる知識や技能を有する人材の育成・定着を促進するとともに、東北全体で安定した人材を確保。

1 企業ニーズに応じた人材の育成・確保・定着

- (1) 各県人材育成プログラムの情報共有・相互参加
- (2) 自動車メーカーやサプライヤー等と連携した人材育成

2 東北全体での安定した人材確保

各県の奨学金返還支援制度等の周知・活用

3 就学段階からの高度ものづくり人材育成

各県及び支援機関等による小中高校生を対象としたものづくり体験の実施等